

だんじり祭り 特集 Part1

秋になり、窓を開ければ聞こえる虫の声。ふと耳を澄ませば、太鼓や祭囃子の賑やかな音…。年間多くの祭りが開催され、ひときわ賑わいを見せるのが「だんじり祭り」です。

だんじり（地車）を保有している地域は数多く、市内全域で十七台にもおよびます。今回のだんじり特集は、市の西側に位置する東大塚、そこから阪和自動車道、南阪奈道路に沿って位置する野、樫山、羽曳が丘、尺度、西浦の6地域にスポットをあててみました。各地域ごとに特色ある祭りが開かれています。



東大塚町会 ☆宮入神社：大津神社 開催日：10月6日～10月7日

手作りだんじりから始め、6年前に誉田馬場町よりだんじりを譲り受けました。大阪天満流のだんじり囃子の調子に合わせ、曳行や龍踊りをして盛り上がっています。火入れ曳行時には、町内外の子ども関係なくお菓子を振舞っていますので、近隣の方はぜひ見に来てください。



野町会 ☆宮入神社：日吉神社、丹比神社 開催日：10月6日～10月7日

秩序ある曳行と、野町会の子供たち、役員、会員、青年団と誰でも参加できる楽しい秋祭りになっています。また、野町会秋祭りの一大イベントとして、お祭り最終日に日吉神社奉納として花火を打上げます。公民館西池の水面に映る花火は一見の価値あります。地車は、町内の道幅が狭く、また子供が主体となって曳くため、小型で優雅なだんじりです。



樫山町会 ☆宮入神社：八王神神社 開催日：10月6日～10月7日

昭和63年に住宅開発が進むなか、新入居者との親睦を深めるために地車を購入。だんじりの上から餅をまいたり、婦人部による炊き出し、女性陣による和太鼓、町会でビンゴゲームなど、住民一丸で祭りを盛り上げています。また本宮最終日には地車を曳行し、野町会と樫山町会との若者たちによるエール交換を行います。



羽曳が丘だんじり会 ☆宮入神社：羽曳が丘神社 開催日：10月20日～10月21日

八年前に東大塚町会より譲り受け、本年で8回目のだんじり祭りになります。まだまだ羽曳が丘では、なじみの浅いこの祭りですが、だんじり会・青年団一丸となって盛り上げていきます。



尺度町会 ☆宮入神社：美具来留御魂神社 開催日：10月20日～10月21日

南河内伝統の俄だんじりであり、五穀豊穡を願い口上と河内俄を奉納する祭礼です。地車は石川型と呼ばれる形で南河内特有の「差し上げ」や「横しゃくり」といった暴れ方をするだんじりです。また、曳行に携わる全ての人と同じ鉢巻、半被で統一された日本の祭りを感じていただけます。



西浦町会 ☆宮入神社：日吉神社 開催日：10月6日～10月7日

歴史あるだんじりで、文久3年頃から曳行していたと思われる記録が残っています。曳行時は南河内特有の曳唄を唄いながら曳行し、宮入の際には幅員2.3mの石畳でできた急勾配の坂を一気に駆け上がる姿は勇壮です。また、西浦地区では、子供会が主体となる石川型地車と青年団主体で曳く住吉大佐型地車の2台を有しています。

